

TOPICS  
3

## トピックス…③

# 自民党がワーキングチーム 提言を了承

自民党は7月9日、党本部で農林水産戦略調査会、農林部会合同会議を開き、畜産・酪農対策小委員会の生乳流通・取引体制等検討ワーキングチーム（座長：坂本哲志 畜産・酪農対策小委員長）がとりまとめた提言を了承した。提言は、7月2日の畜産・酪農対策小委員会で原案が示され、最終的な取りまとめを坂本小委員長が一任され、7日のワーキングチーム会合で策定された。

提言では、酪農家の所得向上に向けて、農林水産省の指導の下、指定団体等が「酪農家目線」に立って、乳価交渉力の強化、中間コストの削減、物流コストの削減のための取り組みを早急にかつ、計画的に進めていく必要性が強調されている。

## 1. 生乳取引について

乳価交渉については、生産コストが上昇する中、乳価改定時期の遅れや交渉結果の不透明性など、交渉を委ねている酪農家から不安の声が上がっていることなどから、乳価交渉力の強化等のため、以下の取組が必要である。

### (1) 指定団体の再編

酪農家戸数や受託乳量の減少を踏まえ、遅くとも平成32年度までに指定団体の再編を実現するものとする。このため、農林水産省は、中央酪農会議に対して、再編も含めた望ましい指定団体の姿を明らかにした上で、平成27年度内に、指定団体と協議の上、具体的な計画を策定するよう指導すべきである。

### (2) 生乳取引のあり方の検討

農林水産省は、指定団体及び乳業者が、平成28年度の取引から適用できるよう、生乳取引のあり方に係る以下の事項について検討する場を設けるべきである。

- 1) 乳価改定が適切に行われるための交渉期限の設定や地域ごとの生産コスト等を踏まえた乳価交渉のあり方
- 2) 生産費調査を補完する直近の生産資材等の統計データの提供方法
- 3) 乳価交渉の結果やその経過並びに根拠等の生産者への周知方法等
- 4) 現在の需給動向を適切に反映し得る生乳の入札制度の導入に向けた具体的な対応

### (3) 有利販売の拡大

指定団体及び乳業者は、多様な消費者ニーズへの対応のため、特色ある生乳のプレミアム取引を積極的に活用すべきである。

### (4) 消費者等の理解醸成

生産者団体及び乳業者等は連携して、小売業者と定期的にわが国酪農・乳業の現状等について意見交換を行うとともに、消費者に対して、学校教育の場等を通じて、牛乳乳製品の栄養的価値等の情報発信に努めるべきである。

## 2. 生乳流通体制について

酪農家戸数や受託乳量の減少を踏まえ、酪農家の負担を軽減するため、生乳流通体制の合理化は喫緊の課題であることから、農林水産省は、指定団体に対し、以下の事項について、地域ごとの課題を十分に踏まえつつ、早急に改善されるよう、平

成27年度内に、会員団体等と協議の上、具体的な計画を策定するよう指導すべきである。

また、計画において、生乳流通コストの削減に向けた取組を踏まえた毎年度の削減目標を設定し、計画的な削減に努めるべきである。

農林水産省は、策定された計画の達成が円滑に進められるよう必要な措置を検討すべきである。

### (1) 中間コストの削減

#### 1) 現行組織・業務の見直し

指定団体及び会員団体等は、生乳販売業務について、各段階での重複を排除するため、当該業務の指定団体への一元化に向けた工程を策定すべきである。

なお、1県1団体化を達成していない会員団体は、酪農家の意見も踏まえつつ、課題整理と解決のための方策を検討し、1県1団体化を推進するべきである。

#### 2) 乳代から控除される経費の見直し

指定団体及び会員団体等は、酪農家負担の軽減の観点から、1)の現行組織・業務の見直しに併せて手数料の見直しを進めるとともに、手数料や集送乳経費等、控除経費の透明性を更に向上させるべきである。

① 具体的には、指定団体及び会員団体等は、農林水産省の指導に基づき、生乳販売業務と生産指導業務に係る手数料の区分を明確化した上で、組織・業務の見直しに併せて手数料を見直すとともに、控除経費の根拠や成果等の情報を適切な方法により酪農家に開示すべきである。

② これと併せて、指定団体及び会員団体等の控除経費の透明性の向上に資するよう、指定団体及び会員団体等は、控除経費項目の簡素化を進めるとともに、指定団体は、会員団体等の控除経費を把握し、これを農林水産省に報告すべきである。

③ 農林水産省は、報告内容を酪農家が比較可能なように分析、整理し、適切な方法により開示すべきである。

### (2) 物流コストの削減

集送乳経費の削減を図るため、集送乳業務の指定団体への一元化を推進し、集乳路線の更なる合理化を進めるとともに、タンクローリーの大型化やクーラーステーションの再編等を進め、ソフトタンクについて衛生面での課題を検討した上で活用するなど更なる輸送効率化を進めるべきである。

また、集送乳を担う運送業者の選定等に当たっては、競争入札の実施により経費削減と透明性確保を図るべきである。